

学校名	和合小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 10 名		
(1) テーマ 障害を持っている方やお年寄りからたくさん のことを学ぼう。 テーマの分類（ ―エ） 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・ <u>学校</u> ・ その他（ ） 該当学年 年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 障害を持っている方や和合に住んでいるお年寄りと接することを通して、障害について 学んだり先人の知恵を学んだりし、学んだことから自分なりの課題を見つけ、追究してい く力をつけていきたい。			
(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） 視覚障害の人を知ろう。（ビデオ視聴、点字学習、盲老人ホームの方との交流【継続中】） 和合に住んでいるお年寄りから学ぼう。（グループに分かれて各家庭へ訪問。4年生以 上はそれぞれ自分なりの課題を持って訪問）（デイサービスのお年寄りとの交流） 学んだことをまとめよう。（一年間を振り返って学んだことをまとめ、個々が新たな課 題を見つける） 時数（35 ）			
(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） 担任3人でTTの形をとっている。 地域に住むお年寄りのお宅を訪問するときは、3つのグループに分け、それぞれのグルー プに教師がついて訪問している。			
(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） 学校行事等を精選し、総合的な学習の時間を確保している。			
(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） 一時間一時間の授業の内容を記録し考察しながら進めている。また、交流会等を行った 後には作文を書いてもらい、個々の交流会への思いや、学んだこと等を見取って評価して いる。			
(8) 成果と課題 児童自らが課題を見つけ追究していくということは、なかなか難しいと感じている。今 回、視覚障害の方について学び交流を行ってみて、教師側の願いを持って取り組む活動も 継続して行え、異学年の全校の児童がそれぞれ、目の不自由な方との交流を深めることが できた。 今後、総合学習としてどんな内容を位置づけたらよいか考えることにより、児童の実態 および地域、そして教師の願いが一つになって進められるような学習を目指していきたい。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題（ ―ア 国際理解 ―イ 情報 ―ウ 環境
 ―エ 福祉・健康 ―オ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学 校
 の特色に応じた課題